



木曾中学校だより

2023年度－7月号－

令和5年7月 3日発行
町田市立木曾中学校
校長 梶野 明信

Tel. (042) 792-3081
Fax. (042) 791-5984



木曾中って、とっても「楽しい」学校！

校長 梶野 明信

私が目指している学校像は、「すべての生徒にとって『楽しい』と思える学校」です。ここで言う「楽しい」とは、生徒が自分の好きに何でもできるということではなく、学校という集団生活の場を通して、自分を磨き高め、相手を思いやり尊重し、互いに理解協力し合うことで築き上げていく「楽しさ」です。また、様々な学習を通して、「わかった」「できた」という達成感を味わうことの「楽しさ」です。ですから、その過程において、苦しいことつらいことは確かに起こると思います。その苦しさやつらさに立ち向かい乗り越えていく自分を築いていくことも大事なのではないかと思います。木曾中学校で学んだすべての生徒に、「木曾中学校に通ってよかった」「木曾中学校は楽しかった」と卒業して実感してもらえたらこの上ない喜びと私は思います。

4月終わりから5月上旬にかけて、ある新聞社の新聞に、教員の働き方に関わる記事が載っていました。ここ何年かの中で、「隠れ残業」「ブラック職場」「教員不足」などなど、学校にかかわる用語が見られます。確かに、木曾中の先生を見てみると、朝は7時くらいには出勤し、帰りは、部活動の指導を終えて生徒の下校を確認して18時30分。それから、明日の授業の準備などをしたり、場合によっては家庭に連絡をしたりしていると、すぐに19時、20時となることがあります。でも、学校の先生も数ある仕事のひとつですので、当然勤務時間があり、木曾中の場合は、朝8時5分から夕方4時35分が勤務時間となっています。それより早く来ても、遅く帰っても、残業とはならず、ただ、教員という仕事の特性上、国は一律に4%の調整手当をつけています。これが、残業手当の代わりとなるもので、土日に部活動を行うとその場合は特勤手当がつくようにはなっています。

私は、学校が生徒にとって楽しい場所であってほしいと思っておりますが、同時に、そこで働く教職員にとっても、また、生徒を通わせている保護者や見守ってくださる地域の方にとっても楽しい場所であってほしいと思っています。「子供たちの輝く笑顔」「健やかな成長」、それを間近で見られる場所が学校であり、そんな素敵な場所にかかわっていただけることは、なんて幸せなことなのでしょうと思わずにはられません。最近、教員のなり手が少ないともいわれ、確かに、都内の小中学校で、正規の教員が足りないという話を聞きます。学校の先生という仕事は誰でもできる仕事ではないと思いますが、それでも、教員を志し、夢を持ってこの仕事に携わっていく人は必要です。

そこで学ぶ生徒、そこで働く教職員にとって「楽しい学校」であるために、たくさんの人の力や応援が必要です。教員は生徒に多くのことを教えていきます。生徒は、いろいろなことに迷いつまづき、戸惑いながら多くのことを学び自分を高めていきます。特に中学校という場は、思春期真っ只中の生徒が生活をしている場所です。何も起きないのが不思議な場所です。時には厳しく、時には温かく、教え諭し指導していきます。いつもお願いをしていることではありますが、生徒の豊かな成長のために、保護者や地域の皆様のご支援ご協力は欠かせません。子供を中心において、それを囲むように「学校」「家庭」「地域」がある。そして、その三者がそれぞれにできることできないことを共有しサポートしあっていく。お互いが真に分かり合うこと、つながることがとても大事です。今回、「教員の働き方」にも触れましたが、私は教職員が「働きやすい職場」とは、「働き甲斐のある職場」だと思っています。教職員がこの木曾中を「働き甲斐のある職場」と感じていてくれれば、その思いは必ず生徒たちに届きます。先生たちが楽しそうにしていれば、きっと生徒たちも先生に負けないように楽しむのではないのでしょうか。お互いが切磋琢磨していくこととなります。

最後に、保護者の皆様にお願ひがあります。今、木曾中では、生徒会を中心に学校の決まりやいじめの問題などに取り組んでいます。先生が何でも決めてそれに生徒が従うのではなく、生徒たちが自分たちのことをしっかりと決めていけるように取り組んでいます。より良い木曾中、楽しい木曾中にしていくために、ぜひその取り組みを応援してください。そして、決まりや約束を守ることの大切さを教えてください。生徒が自ら考え行動し、教職員や保護者、地域の皆様がそれを応援しサポートしていく、そんな学校になろうとしています。これからも本校の教育活動に対しまして、より一層のご理解とご協力をよろしくお願ひします。

♠♣♠木曽境川小学校との合同研修会♣♠♣

木曽中には、木曽境川小学校と忠生第三小学校の児童の多くが入学してきます。特に、木曽境川小学校とは歩いて数分の距離にあり、小中連携を進め、教員相互の研修も行っています。コロナの影響もありましたが、昨年度から再開し、昨年度は本校の授業を小学校の先生に見てもらって、協議を深めました。今年度は、小学校に伺って、小学校の授業を見させてもらい、その後、分科会に分かれて協議会を行いました。普段は小・中それぞれで授業を行っていますが、お互いに授業を見合うことは、互いの校種を知り、義務教育9年間の流れを相互に理解しあうことにつながります。また、この児童がいずれは中学校に入学してきます。児童や生徒を理解することはとても大事なことです。そして、今回は、本校の教職員と木曽境川小の先生と、スポーツによる交流も行いました。相互に授業を見合う経験はありましたが、放課後の時間でスポーツを通して交流するのは初めての経験でした。今回は、9人制バレーボールを行いました。木曽中の先生たちも熱の入ったプレーで気合十分に頑張っていました。



◆◇オリンピックが来ました！(笑顔と学びの体験活動プロジェクト)◇◆ ～東京2020オリンピック女子バスケットボール日本代表 三好 南穂 さん～

6月23日(金)5・6校時に、東京2020オリンピックで、銀メダルに輝いた三好南穂さんが講話や実技体験をしに来てくれました。講話は、主にバスケットボール部員の質問に三好さんが応えてくれる形で、和やかな雰囲気の中で行われました。実技披露では精度の高いレイアップシュート、目隠しての3ポイントシュートを見せてもらいました。実技体験は3対3で、三好さんチーム(村上先生、塚本先生)対バスケットボール部員チームの対決となりました。実技体験とは言え、全員がバスケットボール経験者。笑顔の中にも真剣さが感じられました。さらに生徒総勢36名による三好さんとのシュート対決。生徒はフリースローラインからのシュート。三好さんは3ポイントラインより遠くから吸い込まれるようなシュートを披露してくれました。最後は生徒会役員とのディスカッション。三好さんがこれからかなえたい夢や希望を中心に積極的な議論がなされました。貴重な銀メダルも拝見し、思い出に残る時間でした。次は生徒の感想の一部です。(1年生)準備は結果だと言っていたことが印象に残りこの言葉を生活に生かしていこうと思いました。(2年生)これから自分がどのように取り組んでいったらいいのかアドバイスや勇気づけてもらえた。(3年生)世界に通用するほどの実力がどんなものなのか間近で知ることができた。



部活動の結果

- ☆バドミントン部 ◎第54回町田市青少年の日スポーツ大会 男子ダブルス 3年男子ペア 優勝
◎中体連バドミントン部夏季選手権大会(町田支部) 男子シングルス 3年男子 第3位
男子ダブルス 3年男子ペア 第3位
- ☆男子ハンドボール部 ◎第7ブロックハンドボール夏季交流戦 優秀選手 2年男子
- ☆女子ソフトテニス部 ◎中体連ソフトテニス部夏季選手権大会(町田支部) 3年女子ペア 第3位

(お知らせ):町田市では2024年度から2025年度にかけて順次中学校の全員給食を開始できるように準備を進めています。そこで、生徒や保護者の方、地域住民の方向けの説明会を開催します。ご希望の方は下記ホームページ内の申し込みフォームからお申し込みをお願いします。後日YouTubeでの動画配信も予定しています。中学校によって給食を導入する時期が違いますので、ぜひこの機会に下記ホームページをご覧ください。

《説明会の概要》○生徒・保護者の方向け 日時:7月23日(日)10時~11時半 場所:町田市庁舎3階3-2.3-3会議室(現在、小学校に通われている児童及び保護者の方も参加可能です)

【町田市HP 説明会のお知らせ】 https://www.city.machida.tokyo.jp/kodomo/kyoiku/torikumi/juniorhs-feedingcenter/kyusyoku/sennta-seibi/seito_hogosya_setsume.html

【説明会のチラシ】 https://www.city.machida.tokyo.jp/kodomo/kyoiku/torikumi/juniorhs-feedingcenter/kyusyoku/sennta-seibi/seito_hogosya_setsume.files/setsumeikai202307.pdf

連絡先:町田市教育委員会 学校教育部保健給食課 電話番号:042-724-2177